



記者発表資料	
令和5年11月10日	
担当課 (担当)	文化財課 佐々木
電話	30-8420(内線7840)

仁風閣 令和の大改修

1. 経緯

仁風閣は今から116年前に元鳥取藩主池田家別邸として建築され、当時の皇太子（のちの大正天皇）が鳥取行啓された際に宿舎として利用された。

1973（昭和48年）年に国の重要文化財に指定され、1974-76年（昭和49～51年）に昭和の改修が行われた。

改修後およそ50年が経過し、ふたたび建物の老朽化が加速したことから、本格的な文化財保存修理工事のため、今年（令和5年）の12月下旬より約5年間休館し令和の大改修を行う。

長期休館する直前に「御座所・特別見学ウイーク」を実施し、当時の皇太子の居室として使われた御座所の格式の違いを体感していただき、鳥取を代表する重要文化財を保存していく意義を伝えていく。

(1) 改修工事期間 令和9年度末まで

(2) 改修費用 総額：5億5700万円

（内訳：本工事費4億4600万円、設計監理ほか1億1100万円）

(3) 再オープン 令和10年度中のオープン見込

2. 「御座所(ござしょ)・特別見学ウイーク」

(1) 企画内容

仁風閣の開館以来入室することができなかった2階「御座所」を期間限定で特別開放する。当時の家具類、暖炉飾り、カーテンボックス、シャンデリアなどの貴重な調度品を間近で見学いただける機会を設ける。

御座所へ入室する事で、御寝室の暖炉飾りや鏡枠を正面からご覧いただける。

(2) 日時

令和5年12月22日（金）～28日（木）まで7日間（休館日なし） 9時～17時

(3) その他

- ・御座所・特別見学ウイーク期間中は、全ての方の入館料が無料
- ・文化財修理工事後の際会館でこの御座所を開放する予定はありません。
- ・御座所内の建物撮影は可能ですがストロボや撮影用機材等持ち込みはできません。



御座所